

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	生活環境部食品・生活衛生課
評価対象期間	平成31年2月1日～令和2年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名称	おおいた動物愛護センタードッグラン及び多目的広場	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	大分市大字廻栖野3231-47		
	設置目的	動物の愛護及び適正な飼養に関する普及啓発を図るとともに、人と動物が交流できる場を提供し、もって人と動物が共生する社会づくりに資する。		
指定管理者	名称	九州乳業 株式会社		
	代表者名	代表取締役 檜垣 周作		
	所在地	大分市大字廻栖野3231		
指定管理業務の内容	① ドッグランの施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ② ドッグランの利用の受付及び案内に関する業務 ③ ドッグランの利用の促進に関する業務 ④ 多目的広場の案内に関する業務 ⑤ 多目的広場の利用の促進に関する業務(ドッグランの利用促進のための業務に限る。) ⑥ 多目的広場の維持管理に関する業務 ⑦ 上記に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める業務 ⑧ その他ドッグラン等の管理に関する事務のうち、知事のみの特権に属する事務を除く業務			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	平成31年2月1日～平成33年3月31日(2年2ヶ月間)			

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	50		40
(1) 施設の設置目的の達成	30	4	24
① 計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。			
② 施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
○ 受付窓口で来場者とよくコミュニケーションがとれており、来場者や犬同士の交流の場となっている。			
○ 動物愛護センターホームページの掲載やSNSでの情報発信などにより周知を図った結果。利用頭数は増加傾向にあり、2月、3月は1,000頭を越える利用頭数があった。			

(2) 利用者の満足度			
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	20	4	16
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
<input type="radio"/> アンケート結果から概ね施設利用者の満足は得られている。 <input type="radio"/> 受付する従業員は利用者に常に声かけを心がけ、意見を収集しており、その結果はすぐに報告・連絡・相談している。 <input type="radio"/> ドッグランの利用の条件として、狂犬病予防法に基づく犬の登録及び注射済票の番号や誓約書の提出を設けている。このため利用者は必要事項を記載して利用申請を行うことになるが、簡便に利用できるようスマートフォンで申請ができるようにし、また、スマートフォンを利用していない人のために紙での利用も可能とするなど利用者目線での取組みを行っている。			
2 効率性の向上等に関する取組み	20		12
(1) 経費の低減等	15	3	9
①施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。			
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			
【評価の理由】			
<input type="radio"/> 社員1名とパート1名の体制であるが、利用状況から平日1名、利用者の多い土日・祝日は2名体制で、施設の稼働状況に合わせ、効率的な人員配置を行うなど、経費の効率化を図っている。 <input type="radio"/> SNSで広報を行う等経費縮減に努めている。			
(2) 収入の増加	5	3	3
①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
<input type="radio"/> おおいた動物愛護センター主催のイベント開催時には、自社製品を販売するなど自主事業収入増に努めている。			
3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み	30		24
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況	15	4	12
①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。			
②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。			
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
【評価の理由】			
<input type="radio"/> 社員1名とパート1名の体制であるが、利用状況から平日1名、利用者の多い土日・祝日は2名体制で、施設の稼働状況に合わせ、効率的な人員配置を行うなど、経費の効率化を図っている。 <input type="radio"/> おおいた動物愛護センターが開催した動物愛護フェスティバルや1周年記念イベントでは、記念品販売などを行い、動物愛護の普及啓発に努めている。 <input type="radio"/> 「ななせの里まつり」の際には販売ブースを設置し出店するなど地域と積極的に協働している。			

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。			
②施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。			
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。	15	4	12
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。			
⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。			
⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
【評価の理由】			
○ 個人情報保護規定を制定し、個人情報の適正な取扱いに努めている。また、個人情報の漏えい等は発生していない。			
○ ドッグラン利用規約を制定し、犬同士の事故、人への咬傷事故防止に努めている。また、万が一発生した場合は、人の医療機関、動物病院の連絡先を準備している。			
○ 荒天の際には、テントが飛ばないために事前に外すなどの措置を取っている。また、荒天が事前に予測できる時には臨時休業等を視野に入れて営業している。			

## 【選定委員の意見】

- サービス向上を図る取組や自主事業、地域住民やボランティアとの連携・協働が効果的に作用し、施設の利用促進が期待できる。また、経営基盤や地の利を活かした組織的な取組も評価できる。

## 【総合評価】

合計得点(100点満点)	76	評価ランク(A~E)	C
【評価の理由】			
○ 適切な人員配置によって経費の効率化を図るとともに、犬の適正な飼養に関する普及啓発やドッグラン利用規約では登録済票及び狂犬病予防注射済票の装着を義務づける等、法の周知について飼養者へ適切に実施できている。			
○ 来場者や犬同士の交流するきっかけの場として県民に利用されるなど、動物愛護を進めていく上で重要な役割を担っている。			
【今後の対応】			
○ 夏場には利用頭数が落ち込むが、植樹やテントの設置によって日陰を作るなどの暑熱対策を行い、年間利用頭数の底上げを図っていく。			